

読もう!



松山市泊町の興居島小学校で5日、地域特産の「興居島レモン」の魅力発信に取り組むNPO「MARS 24」(同市)による初めての授業があり、全校児童24人が、講師の愛媛大生3人から特長やおいしさの秘密を学び、畑で収穫を体験した。

座学では、興居島レモンが「まつやま農林水産物ブランド」に認定され、爽やかな酸味と甘みが特長で、約30軒の農家が50ト近く生産していると学習。児童は、知名度アップへポスターやチラシの作成などを考案した。生産者の中川保さん(74)の畑では、日光が当たるよう気を付けて剪

興居島レモン 収穫に笑顔 松山の地元児童挑戦



興居島レモンの収穫を体験する児童

定していることなどを熱心にメモ。黄色く色づいた実をはさみで丁寧に摘み取った。

5、6年生11人は調理実習も行い、取れたてレモンを使ったホットケーキやレモネードを味わった。6年の夏井真唯さん(12)は「一つ一つ丁寧に収穫している農家の人

の話が印象に残った。興居島レモンを見かけたら買って家でも料理を作ってみたいと話した。

MARS 24の中奥竜樹代表(21)は「知名度向上には島の人たちに知ってもらうのが第一歩。地域活性化につなげたい」と展望した。

(亀井咲希)